

令和7年度家庭教育ファシリテーター養成講座 第2回 開催報告

日時 令和7年11月26日(水)14:00～16:30

会場 米原市役所市民交流エリア コンベンションホール

参加人数 16名

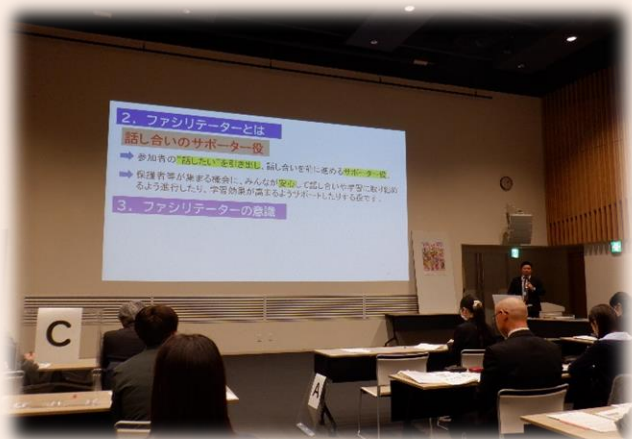
内容

- 趣旨説明:学習講座、お話サロンの進め方について
- 情報提供:「親の居場所について(サードプレイス)」
- 演習①:「気軽に話し合える雰囲気をつくろう!～アイスブレイクpart2～」
- 演習②:「みんなで話し合いを進め、互いの考えを出し合おう!」
(親の居場所と家庭教育支援について)



当日の様子

【 説明 ・ 情報提供 】



<サードプレイスに関するキーワードや特徴、地域でできることについてお伝えしました。>

【 演習① 「気軽に話し合える雰囲気をつくろう!～アイスブレイクpart2～」 】

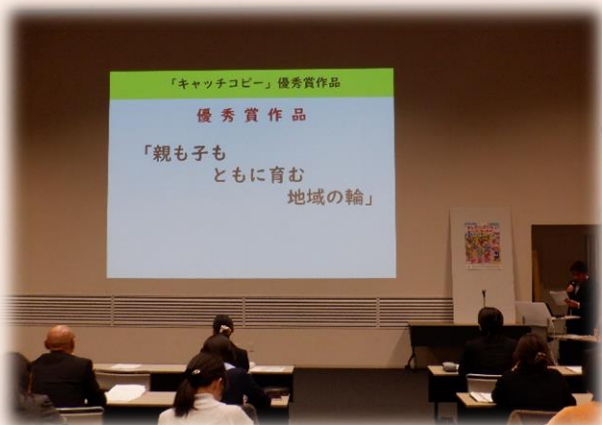


<自己紹介・後出しじゃんけん、サイコロトーク、バースデーチェーンを行い、場が和みました。>

【 演習② 「みんなで話し合いを進め、互いの考えを出し合おう！ 」】



【 令和7年度 家庭教育啓発ポスターお披露目 および「キャッチコピー」紹介 】



< 最優秀賞作品 『育ちあう 笑いあう つながりあう』 >

< 優秀賞作品 『親も子も ともに育む 地域の輪』 >

【参加者の感想より】

- アイスブレイクをすることで場が和み、話しやすい雰囲気ができました。
- 様々な立場の人と交流し、学ぶことができ、自分では気づかない視点など参考になりました。
- アイスブレイクをサロンや連絡会等の初めに取り入れてみようと思いました。
- アイスブレイクを通して緊張がほぐれ、主体的に活動に参加することができました。
- 親同士が出会う場、交流できる場、そこで出会う仲間が長くつながっていけるような継続できる場所づくりをしていきたいです。LINEグループではできない「生の付き合い」を大切にしたいです。
- 親子で参加できる託児付きの趣味の会やパパの会、専門の先生を囲んでの座談会など、親の居場所につながるのではないかと思います。
- サードプレイスという言葉を知り、自分の子育てのことを思い出しました。家庭・職場以外で気楽に語り合える場所は本当に必要だと感じた。地域の中に居心地のいい場所があると嬉しいです。
- 素直に安心して話せる雰囲気が、サードプレイスには大切だと思います。地域での居場所があれば、学校との連携もスムーズにいくのではと考えました。
- ファシリテーター役をしてみて、話し合いの結論が出ないと焦りましたが、必ずしも結論を出さなくてもいいのだと気づくことができました。
- 来年もこの家庭教育ファシリテーター養成講座で学びたいと思いました。

【問合せ先】

滋賀県教育委員会事務局生涯学習課 地域・家庭教育係

TEL : 077-528-4654 FAX : 077-528-4962

Emailアドレス : katsuyama-masanori@pref.shiga.lg.jp

